

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

野庭地域ケアプラザ

■ 事業報告

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

<地域の現状>

担当エリア地域では、

- ①高齢化率が 30%以上に達しています。
- ②単身、高齢者世帯の方が増加しています。
- ③認知症一人暮らし世帯の方が増加しています。
- ④認知症の方其々に個別性を求められる支援が多くなり、社会状況の変化に伴い、複数、問題を抱えたケースの対応に、専門職として関わり、社会的資源を有している地域住民や支援者、各関係機関との連携の下、問題解決を図るネットワークづくりに、「野庭地域において身近な福祉保健の拠点」としての役割を果たしています。

<地域の課題>

- ①高齢者夫婦、認知症世帯、独居等の増加で、介護保険事業者・近隣等からの安否確認の問い合わせが増えていること。
- ②困難を抱えた対象者や家族等が引き起こす地域・近隣とのトラブルが年毎に増加していること。
- ③深い問題、課題のある個別相談が増えており、各関係機関・関連団体との緊密な連携が必要。
- ④地域活動を担う役員、住民、ボランティア等の高齢化で、支援者の減少や後継者が不足していること。

(2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- ①地域住民や関係機関を対象に出前講座を開催。ケアプラザが高齢者・障がい・子ども等の幅広い相談窓口であることをPRしました。また「港南区版生活支援 Co 紹介パンフレット」を配布・配架し、生活支援体制整備事業の普及啓発に努めました。
- ②高齢者、子育て支援、障がい、健康づくり関係の自主事業の際にケアプラザが地域住民の為の幅広い相談窓口であることをPRしました。
- ③地域行事の参加等の際、ケアプラザ事業紹介の看板を設置、チラシを配布してPRしました。
- ④地域の方に関心がある「ひまわりホルダー」や広報紙等を利用し、地域ケアプラザが地域の相談窓口であるということをPRしました。
- ⑤「ひまわりホルダー」は 30 年 3 月末 304 名の登録があります。窓口での登録申込みをきっかけに、はじめて地域ケアプラザに来館された方へもケアプラザ、地域包括支援センターが高齢者・障がい・子ども等の幅広い相談窓口であることをPRしました。
- ⑥地域活動情報誌は、相談窓口対応で地域資源やインフォーマルサービスをわかりやすく説明する際に活用しています。
- ⑦今年度の総合相談を分析した所、相談対応では対象者だけではなく、家族も含め複雑な

事情を抱えているケースが多く世帯全体の支援に努めました。

- ⑧今年度は、対象者が入院中で、病院より介護保険の申請を勧められ、ケアプラザに相談に来られるケースが多くありました。

(3) 各事業の連携

- ①5 職種会議は月 1 回定期的に行う開催
②総合相談票、事業実施記録、各種連絡会記録は 5 職種間で回覧し情報共有しました。
③総合相談票は生活支援 C0 が対応した個別相談にも活用し情報共有しました。
④5 職種協働での事業運営
- ・ のば元気のちかみちネットワーク
 - ・ 見守りネットのば連絡会
 - ・ のば生活応援マップの作成
 - ・ 団暖会ぽかぽかハートネットワーク
 - ・ 地域ケア会議
 - ・ のばあんしん登録
 - ・ ひまわりホルダー
 - ・ にこにこ野庭サロン
 - ・ 野庭ふれあいまつり(10月1日開催)
 - ・ 出前講座
 - ・ ボランティア活動の支援

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ①地域ケアプラザ人員配置基準に沿った職員配置を確保、法人の所要人員計画に基づいた採用、配置を行いました。
②職員研修の開催は月 1 回第 3 金曜日固定して、職員が参加しやすい工夫をしています。
③かながわ高齢者福祉研究大会に通所介護の「家族を巻き込む生活機能訓練」で 1 チーム参加。
④法人共通の全職員の接遇・マナーチェックを実施しています。所属長がチェックするのではなく、他部署の職員が評価し参考資料にして所長、所属長が把握することで適宜、適切なアドバイス、フォローに努めています
⑤安全衛生委員会を月 1 回開催。快適な環境と労働災害の防止について、職員間で情報共有を行っています。
⑥所内包括会議及び居宅支援会議では、利用者への適正な事業者情報の提供方法について確認・共有しています。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

< 地区別地福計画の推進 >

- ① 野庭住宅地区
- ・ にじいろさんごプラン推進委員会の開催支援
 - ・ 意見交換会の開催支援。(2回)
 - ・ にじいろさんごプランにおける単会活動の支援
- ② 野庭団地地区
- ・ いきいき健やかふるさと♥のば推進委員会の開催支援
 - ・ 地域支えあいネットワーク会議の開催支援 (3回)
- ③ 永野地区
- ・ くじら計画推進委員会の開催支援。
 - ・ 全体会議の開催支援 (2回)
 - ・ 全体会議だよりの発行支援
 - ・ 居場所作り委員会の定例会・研修会の開催支援

＜地域福祉ネットワークの構築＞

- ①見守り協力事業者の取組に関しては、のぼ生活応援マップ事業対象店や見守りネットのぼ協定事業者のネットワークを活かしての概要を説明し、理解を求めています。
- ②連合未加入単一自治会を対象とした意見交換会を開催しケアプラザからの情報提供及び意見交換を行いました。開催により、未連への支援も拡大し、住民の福祉保健の向上に貢献できました。(5自治会、1団地管理組合、区役所、区社協 14名参加)
- ③見守りネットのぼ事業として「地域の助けあい・支えあい研修会」を実施し、介護保険事業所や民生委員、配食事業者、買物代行業者、新聞配達業者、近隣店舗等、協議体に参加の地域活動参加者を対象に見守りのネットワークづくりについて啓発を行いました。
- ④のぼこども食堂は毎月1回開催。適宜、支援団体と野庭地域の関連団体との情報共有の設け地域全体で支援の輪を拡大して地域に根ざした開催になるよう努めています。

(6) 区行政との協働

- ①港南ひまわりプランに関して、地域住民・活動団体の方々が、其々の立場でできることを支援し地域のつながりや支えあいのネットワークが充実するように区役所と連携して推進していきます。
- ②各地区(野庭住宅、野庭団地、永野)の区役所担当職員と定期的に地域に関する情報や支援の方向性の共有を図り、地域支援・個別支援に活用していきます。
- ③ひまわりホルダー事業は、区役所と連携しながら登録数を増やしています。
- ④見守り協力事業者事業は、区役所と連携しながら今年度から開始しています。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ①高齢者支援事業
 - ・にこにこ野庭サロン(10回開催 193名)
 - ・うたの広場(2回開催 87名)
 - ・ぶらっとランチ開催支援
- ②障がい者[児]支援事業
 - ・港南なつっこの開催支援(8月7日)
 - ・港南ふゆっこの開催支援(12月27日)
 - ・こうなん来夢出張販売の支援としての場の提供
- ③子育て、子ども支援事業
 - ・のぼこども食堂の開催支援(13回迄開催 537名)
 - ・子育てママ健康美ヨガ(5回開催 46名)
 - ・ママと子のおしゃべりサロン(10開催 112名)
 - ・どれもの森のおともだち(10回迄開催 325名)
- ④ボランティア支援事業
 - ・団暖会ぼかぼかハートネットワーク(3回開催 93名)
- ⑤地域との交流事業
 - ・野庭住宅連合夏祭り模擬店出店(8月19日)
 - ・地域の皆さまとの意見交換会(9月11日)
 - ・野庭ふれあいまつり開催(10月1日)
 - ・港南区こどもフェスティバル支援・参加(11月1日)
 - ・野庭団地福祉の集い参加(11月12日)
 - ・野庭住宅チャリティーバザー模擬店出店(11月26日)

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

①貸館利用のPR

- ・4月からの貸館利用ルール変更に関しては、ケアプラザ全セクションへ内容を説明し、団体登録や利用申込みの際に支障がないようにしました。
- ・貸館利用内容チラシと空き情報をCP入口に掲示しました。
- ・広報紙、HPに貸館の利用案内を掲載しました。

②福祉保健活動団体（団体Ⅰ）が定期的、継続的に活動できる場の提供に努めました。

③団体Ⅰ・福祉保健協力団体（団体Ⅱ）の活躍できる場のコーディネート

④快適に利用できる環境づくり

- ・貸館登録団体、自主事業参加者等のアンケート内容には、施設を快適に利用できたかの項目を入れ破損等の不具合には迅速に対応しました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

①ボランティア支援事業「団暖会・ぼかぼかハートネットワーク」は、傾聴をテーマに勉強会を開催。座学だけでなく勉強しながら交流できる工夫をしました。（3回開催）

②自主事業「男性クッキングのぼ」の皆さまに、野庭ふれあいまつりで模擬店出店ボランティアをコーディネートしました。

③下野庭小学校4年生からの依頼で、地域ケアプラザ・高齢者について及び高齢者疑似体験の出前講座を実施。

④野庭すずかけ小学校6年生からの依頼で、認知症サポーター養成の出前講座を実施。

⑤のぼ子ども食堂では、学生V0（大学生3名）を調整し、子ども達の相手をする事で、食する場としてだけでなく子どもたちの居場所にもなっています。

⑥地域防災拠点訓練（野庭中学校）に参加し、特別避難場所受け入れ訓練では、中学生が搬送役になり実施しました。リヤカー、車椅子の操作を指導しました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

①広報紙を6回/年発行。

②野庭地域ケアプラザ便りを1回/月発行。行事予定、包括による啓発、事業報告等を掲載、ケアプラザ入口等に掲示、配架しました。

③ホームページを1回/月更新し、広報紙や行事予定、各種講座案内等の情報提供を行いました。

④貸館ルール改正に関する窓口相談、対応はチラシ等を使用して説明しました。

⑤貸館ルール改正に伴う新規登録団体の活動内容をまとめた一覧表を作成。地域の方々、来館者に適宜、情報提供しています。

⑥包括・生活支援と協働で「のぼ生活応援マップ」を作成。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

①各種自主事業において目的を共有し、地域福祉の充実に向けた協働に努めました

②港南区コーディネーター連絡会に出席、区内の取組情報の共有を行いました。

③「港南区版生活支援コーディネーター普及パンフレット」を活用し、事業や地域訪問時に配布・説明。生活支援体制整備に向けての理解促進に努めました。

④相談票の回覧・包括カンファレンスへの出席を通し、個別ケースについての理解を図りました。また、生活支援ニーズを持つ個別ケースへの対応について包括・担当ケアマネジャーと連携し、既存の介護保険外サービスへの取次ぎを行いました。

⑤生活支援の普及を目的とした出前講座を検討・企画しチラシや広報物にてPRしました。

⑥受付業務での来館者・利用者との関わりを通し、地域の実状や生活実態、ニーズ把握を行えるように努めました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ① 地域活動に訪問して得た情報を元に野庭地域の生活支援に資するサービス、活動の内容をまとめた「地域活動・サービスリスト」の更新を行いました
- ② 地域活動に訪問し、活動内容の理解・把握に努めました
- ③ 「港南区生活支援コーディネーター連絡会」に出席し、区役所や区社協、他ケアプラザとの情報交換を行いました
- ④ 広報誌「野庭の風」への寄稿を毎号継続し、生活支援の普及啓発や、地域活動についてのPRを行いました。
- ⑤ 「のぼ生活応援マップ」の作成を通し、地域の事業所・企業の情報収集やネットワークづくりを行いました。発行後は配布・配架を行い地域に向け、情報を還元しています。

(3) 連携・協議の場

- ① 包括事業「見守りネットのぼ」との共催で協議体「地域の助けあい・支えあい研修会」を開催しました。参加者（地域住民 30 名、企業・事業所 14 名、CP・区関係者 16 名）
- ② 「地域の助けあい・支えあい研修会」を受けて地域の実働者を対象とした出前講座を実施、25 名が参加しました。
- ③ 「元気のちかみちネットワーク茶話会～買い物支援の情報交換～」を実施し、買い物代行を中心とした買い物支援について協議体参加者と協議・検討しました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ① 連合未加入の自治会・町内会との情報交換会において生活支援体制整備事業についての説明・啓発を行い、高齢者の生活実態・ニーズの把握に努めました。
- ② 地域訪問やヒアリングの中で、住民の生活圏域・活動範囲の情報把握に努めました。
- ③ 港南ひまわりプラン事業「しゃべっ Ciao」において高齢者部門「助け上手・助けられ上手」をテーマとした話題提供を多機関と連携しながら行いました。
- ④ 担当地区の支援チーム会議、地区別計画推進会議に積極的に出席、地区別計画の推進をはじめ地域福祉の充実に向けた支援について支援チーム間で共有・協議しました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- ① のぼ元気のちかみちネットワーク事業
 - ・ 予防プランミニ勉強会
 - ・ 買い物支援の情報交換会
 - ・ 支援者に役立つ介護予防講座
- ② 見守りネットのぼ連絡会
 - ・ 「地域の助けあい・支えあい研修会」を生活支援の協議体と共催で開催しました。外部講師による自然な見守り・支え合いについての講演を通し、見守りについての意識喚起を行いました。
- ③ 担当 3 地区の港南ひまわりプランの推進支援等で、地区別の意見交換会等の推進委員会に、地域交流・生活支援コーディネーターと主任ケアマネジャーが出席しました。
- ④ 各自治会、地区民児協・地区社協の協力を得ながら、地域住民に地域包括支援センターの理解が深まるような出前講座を実施しました。

② 実態把握

- ① 来館が難しい方や安否確認の必要がある方については速やかに訪問し、実態把握に努め関係機関と連絡を取り合い、連携した対応で早期解決に努めました。
- ② 出前講座等を行う際に、アンケートを実施し、地域の方々の心配事、要望、知りたい知識、包括支援センターへ求めていることなど地域のニーズを把握するとともに、効果的な事業、講座へと活かすことのできる情報を集めた結果、地域の方の関心の高い内容の講座を実施することができました。
- ③ 生活に困窮されている方、体調面で緊急対応が必要な方、安否確認が必要な方などの緊急性が高い相談については、区職員と連携を取り、速やかに対応し、その後も支援者同士情報を共有、連携し、継続した対応をすることで、適切な支援につなげることができました。
- ④ ひまわりホルダーの登録件数も増え、のばあんしん登録と併用し安否確認の際に活用することが出来ました。

③ 総合相談支援

- ① 筋力低下の為、外出できない方や地域との関わりの希薄な方に対し、インフォーマルサービスについての相談をまとめ、地域課題を判断材料とすることができました。
- ② 地域活動情報の他、貸館情報、インフォーマル情報、同行・移送サービスの情報をまとめ、相談時の活用、関係機関、関連団体への周知を行いました。
- ③ 困難なケースについては区や各種連絡機関と連携を取り、必要な支援・サービスにスムーズな繋ぎ、連携支援を行うことができました。
- ④ 定期的にカンファレンスを行い、区役所等と情報共有し、注意が必要なケースを早期に情報交換、把握をしたり、統一した方向性で支援ができるよう確認したりするとともに、複合的な問題には、地域関係者へも働きかけて、ケアマネジャー、事業所、施設職員なども交え、それぞれ役割分担し対応するよう努めました。(年 12 回)
- ⑤ 何かあれば気軽に何度も相談できる機関として丁寧な相談対応に努めました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ① 成年後見講座に参加し、そこで得た知識を出前講座や今後の経験に活かしていきます。
- ② 成年後見制度に関しては、見守りネットワークのば支援者に対してや民生委員、ケアマネジャーへ向け、成年後見制度について、まずは制度の概要を理解していただく講座を行えればと思います。
- ③ 成年後見人について、家族やケアマネジャーに説明し理解を得ることで適切な支援を行うことができるようにしていきます。

② 高齢者虐待への対応

- ① 介護者の孤立防止と休息、介護者同士の交流を図ることを目的とし、なごみの会を継続して開催しました。区役所とも連携し、必要なケースは、参加へつなげられるように努めました。介護から卒業した方、介護に追われ外出ができない方等その方々がどうすれば再び参加できるのかについて現在参加を続けている方が意見を出していただき、今後の活動の参考となる意見交換をする場を設けることができました。
- ② 港南区地域包括支援センター社会福祉士分科会にて以前より活動していた区内ケアマネ連絡会だけでなく、初級ケアマネジメント講座、港南区訪問介護連絡会、区内デイサービス事業所に出前講座という形で高齢者虐待についての講座を実施し、早期発見、報告、連携の大切さの啓発に取り組みました。
- ③ 虐待、又はその疑いがある相談を受けた場合、速やかに区職員へ報告した上で対応

し、担当のケアマネジャーと一緒に訪問し確認。進捗状況をその都度報告することで、それぞれの役割を確認、連携し、適切に対応できました。

- ④ ケアマネジャーより虐待、又は虐待の疑いのある相談があり、積極的な同行訪問と、相談後も継続的にフォローを行い、ケアマネジャー、家族共に何かあれば身近な相談場所として包括支援センターがあることを認識していただくことができました。

③ 認知症

- ① 野庭エリアキャラバンメイトの皆さんが4月より自主グループ「NOBAメイトの会」として活動を開始。自主化支援を行いました。
- ② NOBAメイトの会定例会（5回）の開催支援
- ③ 認知症サポーター養成講座（4回開催延83名）
- ④ 野庭ふれあいまつり ※認知症普及啓発活動
「認知症と向き合う」映画上映会を開催（参加者 60名）
- ⑤ キャラバンメイト養成研修への参加を呼びかけ支援の輪のコーディネートを実施することにより、キャラバンメイトが6名増え19名となりました。
- ⑥ 前年度に引き続き、港南区社会福祉士分科会で若年性介護者のつどい「みなとみな」を開催。港南区全体でよりよい活動ができるように協力しました。
- ⑦ なごみの会（介護者のつどい）を10回開催。認知症の方の介護者の参加が多く、参加者同士の交流を大切に話しやすく居心地のよい雰囲気作りに心掛けました。

（3）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ① ゆるやかな見守りネットワーク構築に向けて、生活支援COと共催で、日本社会事業大学 准教授の菱沼幹男先生を講師に、「地域の助け合い・支えあい研修」を開催。この研修には、配食事業者、新聞配達、郵便局、店舗等の各事業者にとどまらず、民生委員、地区社協、ケアマネジャーや個人ボランティア、各種団体等、多種多様な活動をしている方々の参加となり、まさに日常生活を営み、支えている方々が一堂に講演をきく場となりました。参加された方々の声から、今回の講演を通じて、地域とのつながり、支えあいの大切さを再確認できました。
- ② 地域ケアプラザ協力医による講演、「在宅医療の動向」をテーマに民生委員とケアマネジャーの懇談会を開催しました。
- ③ 「ひとり暮らし高齢者見守り事業」は区内全地区で実施。永野地区、野庭住宅地区、野庭団地地区への協力を行いました。

② 医療・介護の連携推進支援

- ① 定期的に地域ケアプラザ協力医と話し合いの場を設定し、民生委員とケアマネジャーの懇親会にて、「在宅医療の動向について」をテーマに講義をしました。
- ② 医療相談を受付時は、必要に応じて、港南区在宅医療相談室を活用しました。
- ③ 今年度も区内開業医、ケアマネジャー、サービス提供事業者等のネットワーク構築、専門性の向上を目的に、「医福ネット港南」を開催しました。
- ④ 「平成29年度 港南区 多職種連携研修」「3 班会（懇親会）」に出席し、地域の医療機関の医師と顔の見える関係の構築を行いました。

③ ケアマネジャー支援

- ①元気のちかみちネットワーク「予防プランミニ勉強会」を実施しました。(7月)
- ②おつかい便の事業終了に伴い、介護保険サービスでは対応できない内容の買物のニーズについて、ケアマネジャーから相談があがり、地域のボランティア9名と情報共有し、今後の買い物支援を検討しました。
- ③ケアマネジャーからあがった相談内容を地域で活動している支援者につなげました。
- ④施設見学を実施。年度後半では、「法令について」「面接への招待」「アセスメント思考プロセス」「サービス担当者会議の開催について」「事例検討」等をテーマに研修を実施。研修終了後は、同期で学びを続けたいとの声が例年と同様上がり、勉強会が立ち上がりました。
- ⑤ケアマネジメント講座「支援困難事例を捉え直す～ナラティブ・アプローチの実践～」を実施しました。(ケアマネジャー42名参加)
- ⑥区ケアマネ連絡会に出席。事務局会議の内容は区内包括主任ケアマネで共有し、ケアマネ支援を実施しました。
- ⑦ケアマネサロンを2ヶ所のケアプラザで実施。制度等について学ぶだけではなく、サロンを通じて、ケアマネ同士また多職種の交流の場にもなっています。
- ⑧随時サービス担当者会議開催場所の提供、困難事例の担当者会議の開催支援を行いました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

「生活困窮者支援制度について」をテーマに個別支援レベルの地域ケア会議を1回開催しました。「生活困窮者自立支援法」について、ケアマネジャーや民生委員等地域の支援者と学ぶことができました。様々な事情で、生活困窮に陥っているケースに対し、高齢者だけではなく、世帯として支えるために、ケアマネジャーをはじめ、民生委員や多職種の連携が必要と改めて、確認することができました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ①7月元気のちかみちネットワーク「予防プランミニ勉強会」(2回開催)
 - ・介護予防・日常生活支援総合事業について
 - ・横浜市訪問型生活援助サービスについて
 - ・支援者に役立つロコモ予防講座（自立支援のポイント）
- ②予防プラン作成 約1,568件/11月（委託率87%）委託事業所と毎月の利用者状況報告書を利用し情報共有。委託事業所ごとに包括職員担当制にしています。
- ③野庭エリアで活用できるインフォーマルサービスの情報冊子を委託事業所等に配布。地域活動情報誌を関係機関に配布、区役所、ケアプラザに配架、貸館等に掲示しました。
- ④地域資源情報誌「のば生活応援マップ」を作成。これは野庭町内の企業、商店、医療関係機関、介護関係事業所、地域の交流の場など幅広い地域資源・サービスの情報となっています。今後は地域住民、各関係機関・団体に配布、またケアプラザに配架し情報を地域に発信していきます。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ①元気のちかみちネットワーク茶話会
第1回「買い物支援の情報交換会」参加者 11名
第2回「買い物代行の情報交換会」参加者 5名
- ②「野庭ふれあいまつり」で健康チェックコーナー（InBody 検査、スモーカーライザー検査、血管年齢測定）を開催（301名参加）。体育協会、3地区の保健活動推進委員が協力。
- ③介護予防講座「元気のちかみち 2017（全5回）」を開催。（延べ94名が参加）
- ④介護予防の出前講座（6回開催）
内容：熱中症予防1回、認知症予防1回、ロコモ予防1回、高血圧合併症予防3回
- ⑤ボランティア育成講座「団暖会ばかぼかハートネットワーク（全3回）」を開催。
内容：傾聴講座と交流会（第3回のみ）
- ⑥ボランティアグループ「元気のちかみち隊」「NOBAメイトの会」の定例会に参加し運営支援を行いました。※「NOBAメイトの会」に関しては、立ち上げ支援
- ⑦元気づくりST「のびるの会」の開催支援を行いました。
- ⑧介護予防講座OB会「てんとうむし」「チャコの会」「ベルの会」の支援を行いました。

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- ①設備、備品における長年の使用による劣化や、不備等の発生が多くなってきています。不備等が発生した場合は、行政と連携して支障がないように迅速に対応しました。
- ②利用者、来館者が安全、安心、快適にご利用頂ける様、建物、施設内の設備機器、備品類等の管理、メンテナンスに努めました。
- ③施設内の日常清掃や手すり、貸し館備品等の消毒を行い、快適にご利用して頂けるように清潔感ある館内であるように努めました。
- ④野庭地区センターとの複合施設として施設管理、植栽管理等に係る情報共有に努め、適正な施設の維持管理に努めました。

(2) 効率的な運営への取組について

- ①ケアプラザの事業目標を達成する為に、事業計画、予算を計画的に遂行しました。
- ②事業を効率よく運営していく為、職員同士が円滑にコミュニケーションできる、所内で各種情報を共有できる環境づくりに努めました。
- ③職員一人ひとりが、予算内での適正運営を行っていくことの共通認識を持ち、事業運営、光熱水費等の経費削減に努めました。

(3) 苦情受付体制について

- ①法人共通の「苦情解決取り扱い要綱」に則り、寄せられた要望・苦情に関しては、迅速かつ適切に対応しました。
- ②受付窓口、デイルームに、苦情・要望の対応方法等をわかりやすく説明した「苦情解決の仕組み」を掲示しています。
- ③事務所受付やデイサービス洗面所に設置しているご意見箱やご意見ダイヤルの案内を掲示して、来館者、利用者の要望・苦情を寄せやすくしています。
- ④広報紙やホームページに、ケアプラザに対するご意見、ご要望用のメールアドレスを掲載して、幅広く地域からの声が拾える体制を整えています。
- ⑤接遇に関する職員研修を実施して、利用者一人ひとりに満足して利用して頂ける施設になるよう努めています。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ①災害発生時には、災害応急マニュアルに則り運営しています。
- ②特別避難場所として、食料・避難物資等の不足がないように災害応急備蓄を計画的に整備しています。
- ③事故や感染症発生時に、迅速かつ適切に対応できるようにリスクマネジメント研修を実施しました。
- ④施設内及び外部での緊急事態に備えてAEDを設置しています。
- ⑤警備会社による機械警備を実施しています。異常時には、24時間、警備員が施設に急行する体制を整えています。
- ⑥野庭地区センターとの合同防災訓練を2回実施しました。

(5) 事故防止への取組について

- ①事故発生時は、ヒヤリハット・事故規定に則り、カンファレンスを開催して対応策等の情報を共有し再発防止策を検討、実施しました。
- ②ヒヤリハット事例は、部署内だけではなくリスクマネジメント委員会でも分析、対応策等の検討を行い所内全体で共有、事故の未然防止に努めました。
- ③法人各施設の職員で構成されたリスクマネージャーを中心に事故事例や、事故防止の取組みを検討、事故対応、防止策の統一事項を、職員に提言、周知に努めました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

「個人情報保護管理規程」に則り、保有する個人情報は適切に取り扱っています。

- ①個人情報が記載されている物の取扱いを慎重に行い、漏洩防止に努めました。
 - ア) 施錠のかかる棚、引き出し等への保管徹底
 - イ) F A X送信取扱い時に複数によるダブルチェック、個人が特定できないようマスキングを実施
 - ウ) 各部署で管理しているU S Bの保管状況確認一覧を作成し、管理ナンバーを付けてのデータ内容把握、保管管理場所の徹底
 - エ) ケアプラザ所有携帯電話、P Cデータ漏洩防止の為、各自の暗証番号を設定、セキュリティによる管理の徹底
 - オ) 裏紙再利用の際、複数によるダブルチェックの徹底
- ②個人情報、プライバシー保護に関する研修を開催しました。
- ③マイナンバーの取扱いに関しては、法人本部と連携し施設業務において厳格に対応しました。

(7) 情報公開への取組について

- ①広報紙、ケアプラザ便りを定期発行しました。
- ②ホームページを活用し、ケアプラザ最新情報、各種事業案内等を公開しています。
- ③事業報告、事業計画、各種要綱等は、受付窓口にて閲覧できるようにしています。
- ④野庭地域ケアプラザ運営協議会を開催し、事業計画、報告、懸案議題、地域ケア会議等の意見交換を行い、運営委員の方々との情報提供・情報共有の場としています。
- ⑤ケアプラザ各部署で実施した利用者アンケートは、集計・分析したものを情報開示しました。

(8) 人権啓発への取組について

- ①地域支援やケアマネジメント、相談業務等に携わる職員として、人権配慮が、態度や行動に現れるような感覚を持てるように、人権尊重の理念についての理解を深めるようケアプラザ全体で努めました。
- ②人権尊重の大切さや人権について考えるきっかけとなる内容を盛り込んだ広報紙等を、様々な機会に配布・掲示しました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ①管理標準に則り、環境等への配慮に取り組んでいます。
 - 適切な冷暖房の使用に心がけ、館内の空調が適正温度となるように努めました。
 - 使用していない部屋の消灯に心がけました。
 - 不使用時の印刷機・パソコン等は電源を落とすよう心がけました。
- ②フロン排出抑制法に則り、対象機器の適正な使用環境を維持、確保し管理、点検に努めました。
- ③建物周辺・野庭中央公園のゴミ回収等を毎日行いました。
- ④植栽の維持管理は、外部業者に委託し良好な景観保持に努めました。
- ⑤「ヨコハマ 3R 夢」を推進し、資源ゴミの分別排出を職場内で徹底しています。
- ⑥印刷機のトナー等はリサイクル品で対応しています。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者（保健師等と兼務）	1名
保健師等	1名
社会福祉士	1名
主任ケアマネジャー	1名
ケアマネジャー	1名

《取り組み状況》

- ①事業対象者、要支援者の主体的な行動や活動意欲を引き出し目標指向型の介護予防プランを作成しました。
- ②予防プランには介護保険サービスの他に地域の様々な社会資源を活用しました。
- ③委託先のケアマネジャーが適切なケアマネジメントができるよう介護予防支援業務に関する研修会等を実施し、スキルアップを目指しました。
- ④委託事業所（居宅介護支援事業所）のケアマネジャーやサービス提供事業者など関係団体の連携のためのネットワーク強化をはかりました。又、担当エリアの介護予防活動をはじめとするインフォーマルサービスの情報を積極的に発信しました。

《実費負担》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ①介護予防講座「元気のちかみち2017」、のば健康講座、ロコモ予防講座、健康出前講座を開催しました。
- ②介護予防・生活支援ネットワーク「のば元気のちかみちネットワーク 交流会」にて関係団体との意見交換等で総合事業を推進し多様なサービスが活用できる地域づくりに取り組みました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
183	188	192	194	199	204
10月	11月	12月	1月	2月	3月
209	206	207	204	201	204

●居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者（常勤兼務） 1名
 介護支援専門員（常勤） 3名
 介護支援専門員（非常勤） 3名

《取組状況》

- ①各種相談に迅速に対応ができるように事業所内での情報共有や、関係機関との連携を強化しました。
- ②医療依存度の高い方、ターミナルケアの受け入れを積極的に行い、適切なプラン作成のための医療知識の習得に努めました。
- ③地域包括、生活支援との連携を深め、社会資源を盛り込んだ自立支援を目指すケアプランの作成に努めました。

《実費負担》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ①地域包括支援センターの受託法人の居宅支援事業所として、地域包括・区役所高齢障害担当ケースワーカーとの連携を密にとりながら、支援困難な事例にも積極的に対応しました。
- ②地域の取り組みを実際目で把握しました。介護保険以外の社会資源も対象者には積極的のご提案し、自立の意識が持てるようなプランの作成に努めました。
- ③医療機関との連携も強化し、医療依存度の高い方も積極的に受け入れ、ご本人の安楽と、ご家族のメンタル面でのケアにも誠意をもって対応しました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
166	138	141	138	136	129
10月	11月	12月	1月	2月	3月
136	135	138	136	132	125

●通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- ①健康チェック、入浴、食事、清潔、排泄ケア 個別機能訓練、介護者相談
- ②日常生活上の支援

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

	1割負担分	2割負担分
(要介護1)	692円	1383円
(要介護2)	817円	1634円
(要介護3)	947円	1893円
(要介護4)	1077円	2153円
(要介護5)	1206円	2412円
※食費負担（おやつ含む）	710円	
※有償サービス	紙パンツ120円、紙パット50円	

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》9：30～16：30

《職員体制》

管理者	1名	（常勤兼務）
生活相談員	3名	（介護福祉士）常勤専従1名 常勤兼務2名
看護職	5名	（看護師）常勤専従1名 非常勤兼務4名
介護職	14名	（介護福祉士等）常勤兼務2名 非常勤専従12名
機能訓練指導員	5名	（看護師）常勤専従1名 非常勤兼務4名
運転手 事務員	9名	非常勤

《取組状況》

- ①入浴、食事、趣味娯楽、個別機能訓練などを通して、自立支援に向けたプランを作成しサービス提供しました。
- ②ご利用者の意見を尊重し少人数レクリエーション、クラブ活動や趣味活動のプログラム支援を行いました。
- ③利用者事故ゼロを目標に、リスクマネジメント研修や避難訓練について取り組みました。
- ④ご利用者が明るく楽しく生き甲斐を持って過ごして頂けるよう工夫しました。
- ⑤ご利用者のニーズに対応できるよう、常にサービス向上を目指しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ご利用者が在宅生活を継続できるように、個別機能訓練等で可能な動作を最大限に活かし脳の活性化・手先を鍛える・身体を鍛える・身体を癒す等のリハビリに繋がるようプログラムを選択し、楽しんでまた意欲的に行えるような支援に努めました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
962	980	976	1005	944	929
10月	11月	12月	1月	2月	3月
911	950	917	827	850	920

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- ①介護者相談・健康チェック・入浴・食事・清潔・排泄ケア
- ②運動器機能訓練：歩行訓練・階段昇降・転倒予防運動（各種の用具使用）
- ③生活機能向上グループ活動：グループ体操・創作活動

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

	1割負担分	2割負担分
要支援1	1 7 6 6 円	3 5 3 1 円
要支援2（週1回）	1 7 7 6 円	3 5 3 1 円
要支援2（週2回）	3 6 2 1 円	7 2 4 1 円
※食費負担（おやつ含む）	7 1 0 円	
※有償サービス 紙パンツ	1 2 0 円、紙パット 5 0 円	

《事業実施日数》対象者が通所している曜日、週7日（生活向上グループ活動実施）

《提供時間》 9：30 ～16：30 但し、途中でも自由に帰宅できます

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
生活相談員	3名（介護福祉士）常勤専従1名 常勤兼務1名
看護職	5名（看護師）常勤専従1名 非常勤兼務4名
介護職	14名（介護福祉士等）常勤兼務2名 非常勤専従12名
機能訓練指導員	5名（看護師）常勤専従1名 非常勤兼務4名
運転手 事務員	9名 非常勤

《取組状況》

「本人のできることはできる限り本人が行う」ことが重要であり、運動器機能向上や社会と積極的に接する機会を提供することにより自立支援を促しました。その結果を、評価シートを用いてフィードバックしました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ①専門技術を学んだ職員が階段昇降台、ペダルこぎ、平行棒を新たに増やし筋力アップ等の運動器機能向上を図りました。
- ②万歩計を使い数字をご自分でカードに記入していただくことで飽きない工夫を凝らし、楽しくできるように配慮しました。
- ③在宅生活が継続できるように、脳の活性化、手先を鍛える、身体を鍛える、身体を癒す等のリハビリに繋がるプログラムを行いました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
47	43	49	58	54	52
10月	11月	12月	1月	2月	3月
57	44	42	40	41	45

平成29年度「横浜市野庭地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)地域活動

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	13,894,863	△ 202,146	13,692,717	13,692,717	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	833,860	△ 833,860	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	54,283	△ 54,283	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	54,283	△ 54,283	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他 (指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)	3,587,500		3,587,500	3,587,500	0	
その他 (提案時控除 法人負担分)	2,892,637		2,892,637	2,892,637	0	
収入合計	20,375,000	△ 202,146	20,172,854	21,060,997	△ 888,143	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,109,159	0	13,109,159	13,172,206	△ 63,047	
本俸	8,612,718		8,612,718	8,713,411	△ 100,693	
社会保険料	1,192,933		1,192,933	1,219,913	△ 26,980	
手当計	3,080,652		3,080,652	3,045,436	35,216	
健康診断費	65,546		65,546	40,492	25,054	
勤労者福祉共済掛金	13,109		13,109	7,350	5,759	ハマなれんど
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
その他	144,201		144,201	145,604	△ 1,403	
事務費	1,521,221	0	1,521,221	841,215	680,006	
旅費	10,439		10,439	11,175	△ 736	
消耗品費	268,644		268,644	122,697	145,947	
会議贈い費	2,917		2,917	4,716	△ 1,799	
印刷製本費	126,646		126,646	71,525	55,121	
通信費	418,316		418,316	228,423	189,893	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	17,268	△ 17,268	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	18,421		18,421	0	18,421	
振込手数料	15,351		15,351	44,162	△ 28,811	
リース料	95,177		95,177	64,666	30,511	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	565,310		565,310	276,583	288,727	
事業費	107,901	0	107,901	869,312	△ 761,411	
運営協議会経費	42,000		42,000	5,546	36,454	予算・指定額
指定管理料充当 事業	65,901		65,901	863,766	△ 797,865	
管理費	4,587,986	0	4,587,986	3,546,642	1,041,344	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算・指定額
光熱水費	2,605,136	0	2,605,136	2,102,341	502,795	
電気料金				571,402		
ガス料金				655,329		
水道料金				875,610		
清掃費	782,591		782,591	489,700	292,891	
修繕費	474,000	0	474,000	271,854	202,146	予算・指定額
機械整備費	91,939		91,939	57,792	34,147	
設備保全費	638,320	0	638,320	401,811	236,509	
空調衛生設備保守	400,839		400,839	252,160	148,679	
消防設備保守	38,970		38,970	24,426	14,544	
電気設備保守	44,220		44,220	27,866	16,354	
害虫駆除清掃保守	12,725		12,725	8,085	4,640	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	141,566		141,566	89,274	52,292	
共益費	0		0	0	0	
その他	△ 4,000		△ 4,000	223,144	△ 227,144	
公租公課	1,048,733	0	1,048,733	1,053,776	△ 5,043	
事業所税				0	0	この列は入力しない
消費税	1,048,733		1,048,733	1,053,776	△ 5,043	
印紙税				0	0	この列は入力しない
その他 ()				0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分				0	0	この列は入力しない
当該施設分				0	0	この列は入力しない
二一対対応費				0	0	この列は入力しない
支出合計	20,375,000	0	20,375,000	19,483,151	891,849	
差引	0	△ 202,146	△ 202,146	1,577,846	△ 1,779,992	

自主事業費収入	65,901		65,901	0	65,901	予算・指定管理料を含む
自主事業費支出	65,901		65,901	863,766	△ 797,865	
自主事業収支	0	0	0	△ 863,766	863,766	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	54,283	△ 54,283	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	54,283	△ 54,283	

平成29年度「横浜市野庭地域ケアプラザ」
 収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	28,569,000	△ 410,739	28,158,261	28,158,261	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	△ 1,845,494	3,943,506	3,943,506	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	103,700	△ 103,700	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	54,282	△ 54,282	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	54,282	△ 54,282	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充充分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	2,824,804		2,824,804	2,824,804	0	
収入合計	37,333,804	△ 2,256,233	35,077,571	35,235,553	△ 157,982	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	33,395,023	0	33,395,023	24,897,341	8,497,682	
本俸	23,251,379		23,251,379	15,509,466	7,741,913	
社会保険料	4,544,714		4,544,714	3,125,186	1,419,528	
手当計	4,946,307		4,946,307	5,847,760	△ 901,453	
健康診断費	106,691		106,691	64,387	42,304	
勤労者福祉共済掛金	39,206		39,206	24,850	14,356	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
その他	506,726		506,726	325,692	181,034	
事務費	1,569,526	0	1,569,526	2,087,654	△ 518,128	
旅費	26,074		26,074	21,756	4,318	
消耗品費	141,736		141,736	108,129	33,607	
会議諸費	669		669	840	△ 171	
印刷製本費	27,545		27,545	26,021	1,524	
通信費	277,455		277,455	234,212	43,243	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	89,187		89,187	34,504	54,683	
振込手数料	16,046		16,046	732,543	△ 716,497	
リース料	307,540		307,540	230,894	76,646	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	683,274		683,274	698,755	△ 15,481	
事業費	1,140,998	0	1,140,998	745,971	395,027	
協力医	630,000		630,000	273,000	357,000	予算:指定額
指定管理料充自主事業(包括)	50,998		50,998	79,291	△ 28,293	
指定管理料充自主事業(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	予算:指定額
指定管理料充自主事業(生活支援)	309,000		309,000	242,680	66,320	予算:指定額
管理費	1,228,257	0	1,228,257	952,297	275,960	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	697,391	0	697,391	558,850	138,541	
電気料金				151,892		
ガス料金				174,201		
水道料金				232,757		
清掃費	209,875		209,875	130,171	79,704	
修繕費	126,000		126,000	72,261	53,739	予算:指定額
機械警備費	24,611		24,611	15,362	9,249	
設備保全費	171,180	0	171,180	106,805	64,375	
空調衛生設備保守	107,340		107,340	67,029	40,311	
消防設備保守	10,414		10,414	6,492	3,922	
電気設備保守	11,855		11,855	7,407	4,448	
害虫駆除清掃保守	3,441		3,441	2,148	1,293	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	38,130		38,130	23,729	14,401	
共益費	0		0	0	0	
その他	△ 800		△ 800	68,848	△ 69,648	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一三対応費			0	0	0	
支出合計	37,333,804	0	37,333,804	28,683,263	8,650,541	
差引	0	△ 2,256,233	△ 2,256,233	6,552,290	△ 8,808,523	

自主事業費収入	510,998			103,700		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	510,998			472,971		
自主事業収支	0			△ 369,271		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			54,282		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			54,282		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市野庭地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位: 千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
	収入	介護保険収入	5,772	21,568	117,547
その他		6,054	1,938	8,862	454
介護予防ケアマネジメント費		6,054			
事業・負担金収入					
介護認定調査委託費			1,823		
雑収入費				8,128	416
その他			115	734	38
収入合計(A)		11,826	23,506	126,409	3,404
支出		人件費		20,852	54,315
	事務費				
	事業費		1,351	22,226	1,145
	管理費		856	6,245	320
	その他	9,187	54	346	10
	利用者負担軽減額			131	
	消費税				
	介護予防プラン委託料	9,177			
	介護予防支援事業指定更新手数料	10			
	その他		54	215	10
支出合計(B)	9,187	23,113	83,132	4,273	
収支 (A) - (B)		2,639	393	43,277	-869

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 野庭地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
介護予防普及強化事業 元気のちかみち2017 (横浜市委託)	地域住民	43,084	地活	0	0	0	0	0	0
	114名		包括	43,084	0	0	29,600	13,484	0
	0円		生活	0	0	0	0	0	0
健康チェックコーナー (野庭ふれあいまつり)	地域住民	13,996	地活	0	0	0	0	0	0
	273名		包括	13,996	0	0	10,432	3,564	0
	0円		生活	0	0	0	0	0	0
のば健康講座	地域住民	16,600	地活	0	0	0	0	0	0
	39名		包括	16,600	0	0	16,600	0	0
	0円		生活	0	0	0	0	0	0
(介護予防生活支援事業連絡会 のば元気のちかみちネットワー (4回))	地域活動団体	46,065	地活	0	0	0	0	0	0
	64名		包括	46,065	0	0	20,000	22,785	3,280
	0円		生活	0	0	0	0	0	0
いつまでも歩ける体づくり講 (3回)	地域住民	67,000	地活	0	0	0	0	0	0
	134名		包括	0	67,000	0	67,000	0	0
	500円		生活	0	0	0	0	0	0
見守りネットのば連絡会	関係団体・地域住民	10,434	地活	0	0	0	0	0	0
	51名		包括	10,434	0	0	0	8,272	2,162
	0円		生活	0	0	0	0	0	0
出前講座	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	873名		包括	0	0	0	0	0	0
	0円		生活	0	0	0	0	0	0
なごみの会 (介護者のつどい)	介護者など	0	地活	0	0	0	0	0	0
	29名		包括	0	0	0	0	0	0
	0円		生活	0	0	0	0	0	0
認知症キャラバンメイト& サポーター 交流会	地域活動グループ	0	地活	0	0	0	0	0	0
	50名		包括	0	0	0	0	0	0
	0円		生活	0	0	0	0	0	0
団暖会 ぽかぽかハートネットワー ク	地域ボランティア	29,478	地活	53	9,300	0	0	9,353	0
	93名		包括	20,125	0	0	15,001	5,124	0
	100円/回		生活	0	0	0	0	0	0
にこにこ野庭サロン	高齢者	30,449	地活	19	19,300	0	0	19,319	0
	193名		包括	11,130	0	0	11,130	0	0
	100円/回		生活	0	0	0	0	0	0
男性クッキングのば	男性の高齢者	80,387	地活	387	80,000	0	54,126	26,261	0
	10人		包括	0	0	0	0	0	0
	1000円/回		生活	0	0	0	0	0	0
どれもの森のおともだち	幼児と親	75,203	地活	3	75,200	0	60,140	15,063	0
	325人		包括	0	0	0	0	0	0
	1組400円/回		生活	0	0	0	0	0	0
ベーシックヨガ	高齢者	216,603	地活	3	216,600	0	168,392	48,211	0
	314人		包括	0	0	0	0	0	0
	600円/回		生活	0	0	0	0	0	0
のびのびヨガ教室	高齢者	168,392	地活	20,792	147,600	0	168,392	0	0
	190人		包括	0	0	0	0	0	0
	600円/回		生活	0	0	0	0	0	0
ママと子のおしゃべりサ ロン	幼児と親	7,353	地活	1,353	6,000	0	0	7,353	0
	112人		包括	0	0	0	0	0	0
	0円		生活	0	0	0	0	0	0

平成29年度 自主事業報告書

横浜市野庭地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防支援事業連絡会のば元気のちかみちネットワーク交流会	野庭地域の実情に合わせた多様で柔軟な生活支援のある地域づくり、また介護予防・生活支援活動の活性化と各関係機関、団体のネットワークづくりを目的とし開催しました	平成29年度 4回開催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康チェックコーナー (野庭ふれあいまつり)	ケアプラザ・地区センターの合同まつり（ふれあいまつり）で介護予防普及啓発活動として健康チェックコーナーを設け、体組成検査（inbody）を行いました。検査の結果をもとに横浜市体育協会講師に日常生活のアドバイスをしてもらい日常生活を振り返りを行いました。	平成29年10月 1回開催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
(介護予防普及強化事業)元気のちかみち2017 (横浜市委託)	高齢者が住み慣れた身近な地域で介護予防を意識し、介護予防の具体的な取り組みを始めるきっかけとなる機会を提供し、日常生活の中で身体状況に応じた介護予防活動を実践する高齢者がふえることを目指し開催しました。	平成29年5月～6月 まで 全5回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いつまでも歩ける体づくり講座	介護要因の第2位を占めるロコモティブシンドロームを予防することを目的として開催しました。関節痛予防改善体操を中心に実施しました。	平成29年6・10月 平成30年1月 3回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
のば健康講座	いつまでも住み慣れた地域で活動的に暮らすことができるよう、健康作りに役立つ情報を提供すること、また、活動的に生活するきっかけ作りとなることを目的とし開催しました。	平成29年8月 1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
なごみの会 (介護者のつどい)	認知症の家族の介護をされている方、ご自身やご家族の介護についてご関心のある方、介護経験のある方などを対象に、他の方と話し合ったり、介護に役立つ勉強会をしたりしながら、気持ちを「なごやか」することを目的として実施しました。	10回開催 毎月第2木曜日 (8月・1月は休み)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座	介護保険制度、認知症予防、介護予防、悪質商法や成年後見制度などの普及啓発を目的とした出前講座を随時実施しました（認知症サポーター養成講座含）。	平成29年4月～ 平成30年3月 23回開催

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
見守りネットのば	地域の高齢者の生活の支援、また緊急時における体制を確立するために、地域包括支援センターと配達事業者とで、安否確認のネットワークを構築していくために連絡会を開催しました。	平成29年年度 1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
民生委員とケアマネジャーとの連絡会	地域のネットワーク構築の一環として、ケアマネジャーと民生委員との関係作りを目的に情報交換会を実施しました。	平成29年度 1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症キャラバンメイト&サポーター交流会	野庭エリアキャラバンメイトとサポーターの交流会を開催し、認知症普及啓発活動やネットワークづくりについて考え取り組みました。	平成29年度 1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
団暖会 ぼかぼかハートネットワーク	地域の中で福祉保険活動を推進していく担い手、原動力となるボランティアの育成支援を目的に開催しました。ボランティア活動を行う上で役立つ情報や活動を継続していくためのお仲間づくりの場を提供しました。	平成29年度 全3回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性クッキングのば	男性が一人暮らしになっても安定した食生活を維持できるように支援すると共に、調理をすることでセカンドライフの充実、地域の仲間作りと交流、野庭ふれあいまつりへのボランティア参加を目的として行いました。	平成29年4月から平成30年3月まで全9回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
どれみの森のお友だち	子育て支援として音楽や・リズム遊びを取り入れ親子のふれあいを密にし、子育てに関する不安や悩みの解消、母子のストレス発散と仲間作り・子育ての情報交換の場として開催しました。	平成29年4月から平成30年2月までの全10回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
のびのびヨガ教室	高齢化による身体の衰えを過剰な運動ではなく、ゆっくりとした運動による動きを中心とした、ヨガにより心身のストレスを解消するために行いました。	平成29年4月から平成30年3月まで全24回開催

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ベーシックヨガ	初心者向けとして、高齢化による身体の衰えを過剰な運動ではなく、ゆっくりとした運動による動きを中心とした、ヨガにより心身のストレスを解消するために行います。また、参加するために外出の機会を創生しました。	平成29年4月から平成30年3月まで 全24回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママと子のおしゃべりサロン	地域の子育て支援者、保育園等と協力し日頃の子育てに関する悩みや、不安を軽減する仲間作り・憩いの場として開催し、毎回季節感のある行事を実施し親子で楽しんで頂きました。	平成29年4月から平成30年3月まで 全10回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
にこにこ野庭サロン	高齢者の外出支援を目的に地域の井戸端会議的な集いを提供する事を目的としました。地域包括支援センター共催。	平成29年4月から平成30年3月まで 全10回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
港南なつっこ	港南区社会福祉協議会との協働事業で障がい児余暇活動支援事業の一環として、ケアプラザとして会場の提供を行い夏休み期間中に遊ぶ時間を作り思い出作りをしてもらおうという企画の支援を行いました。	平成29年8月7日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
野庭住宅連合自治会夏祭り	野庭中央公園で開催される地域自治会主催の夏祭りに参加し、地域の一員として地域との交流を図りました。模擬店の内容は子どもを対象とした「おもちゃ」販売を行いました。	平成29年8月19日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
野庭ふれあいまつり	地区センターとの共催による事業で子どもから大人まで、地域住民の方が楽しめる企画を実施しました。	平成29年10月1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
遊びにおいてよこどもフェスティバル 2017	地域の保育園・幼稚園・区役所子育て支援課・港南土木事務所・交通局・消防署・地域自治会・民児協・地区社協等の人的資源が協働し子育て支援として事業を開催しました。（於：野庭中央公園）	平成29年11月1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
野庭住宅社会福祉協議会福祉チャリティーバザーへの参加	地域福祉事業の一環として、野庭住宅社会福祉協議会主宰の野庭中央公園チャリティーバザーに参加し、地域団体と地域住民との交流を目的とし参加しました。また売り上げの一部をバザー協賛金としました。	平成29年11月26日

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うたの広場	地域の仲間作り支援として季節の歌を中心に童謡や愛唱歌を歌い楽しんでいただくことを目的に開催しました。	平成29年6月～平成30年11月ま2回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てのママのヨガ講座	子育てのママ自身のリフレッシュ・健康保持の目的で開催しました。	平成29年11月～平成30年3月までに5回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
のぼこども食堂	子どもの孤食や居場所作りの支援、地域交流の場として開催しました。	平成29年4月から平成30年3月まで 13回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みちかな芸術家たち	地域のみちかな芸術家を発掘し、その作品を展示し地域の方たちに観て頂き、文化交流の場を提供することを目的とし、ケアプラザ廊下に展示しました。	平成29年4月から平成30年3月まで

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域の皆さとの意見交換会	連合に未加入の町会の方々をお招きして、野庭地域ケアプラザの活用術を情報提供し、高齢者の様子や困り事が生じた際の対応についてや自治会、町内会運営の工夫、大変なこと、交流・見守りについて情報共有しました。	平成29年9月11日